

2022 年
NBS新春講演会のご案内【第一信】

NBS 会員の皆様

最近の二年間は世界中が“コロナの蔓延”に翻弄されてきた年月でしたが、皆様にはお変わりなく、お元気に活躍のことと存じます

さて、世間的にはまだまだ年内に仕上げる“宿題”をお持ちの方もお在りかと存じますが、来年二月に開催いたします NBS 恒例の【新春講演会】の開催を、下記の通りご案内いたします。

例年、私どもの【新春講演会】は“マクロ経済”をテーマとして開催して参りましたが、今回も昨年度に引き続き、講師には第一生命経済研究所 経済調査部 首席エコノミストの熊野英生氏をお迎えし、『2022 年 日本経済・社会の展望と対応(仮題)』と題して、ご講演いただきます。

直近の“コロナ禍”の二年間は『政治の季節』とでも言うべきか、日本では安倍・菅・岸田と三人の首相の交代が有り、また、米国では本年 1 月にトランプからバイデンへ、ヨーロッパでは、2019 年 7 月にジョンソン氏の英国首相就任、2021 年 2 月には前欧州銀行総裁マリオ・ドラギ氏のイタリア首相就任と相次ぐリーダーの交代が続く、そしてドイツでは 16 年間続いたメルケル政権が社会民主党政権へと交代します。

一方で、米国との対立が深まっている旧共産圏では、習近平総書記とプーチン大統領の長期政権化が進行し、『中国の民主』では“レーニン流共産党前衛論”が声高に語られ、ロシア軍はウクライナ国境への駐留を強化する等、何十年も前の「冷戦構造」が再び現出するかの危惧を抱かされる世相です。

勿論、根本的な問題として、私たちを取り巻く世界には、CO₂対策を始めとする環境問題や世界的な人口問題等々の数多くの問題が横たわっていますし、その解決の為の一方策として、各国の政治的な対応要求が各国の政治状況に現れているのですが、何か 100 年前の“混沌の世相”に世界中が逆戻りする様な閉塞感を感じてしまいます。そして、こうした時にこそ、熊野先生の明快なお話を伺い、来るべき時代への展望を開きたいと考えています。

感染者数は減少したとは言え、新型ウィルスの新たな流行も予想され、今回の講演会につきましても、NBS としましてはコロナ対策に基づく会場の設定や講演の運営等に十分留意する所存です。

ご多用中とは存じますが、皆様の奮っての御参加をお待ち申し上げます。

2021 年 12 月 14 日
NPO ビジネス・サポート
理事長 観野 福太郎

「NBS 新春講演会 開催概要」

1. 日 時 2022 年 2 月 8 日(火) 講演会 15:00~17:00
*『コロナ対策』の関係も有り、講演会後の予定は改めてご案内申します。
2. 場 所 霞が関 商工会館 6G会議室
(住所)千代田区霞が関 3 丁目 4-2
3. 講演会 講師:熊野英生氏
(第一生命経済研究所 経済調査部 首席エコノミスト)
演題 : 『2022 年日本経済・社会の展望と対応(仮題)』

4. 参加費 一般参加者 2,000円
NBS 会員 1,000円

5. 講師のプロフィール

*熊野 英生 氏

(ご略歴)

1967年7月 山口県生まれ。横浜国立大学経済学部卒。

1990年 日本銀行入行。調査統計局、情報サービス局 勤務

2000年 第一生命経済研究所入社。2011年4月より首席エコノミスト。

2008年より日本FP協会評議員。2015年より日本FP協会理事。

・ご著書等:「なぜ日本の会社は生産性が低いのか」(文春新書) 2019年1月 発売

その他「バブルは別の顔をしてやってくる」(日本経済新聞出版社)

「本当はどうなの? 日本経済—俗説を覆す64の視点」(日本経済新聞出版社)
など多数。

ご専門は、金融政策、財政政策、為替市場、経済統計。

【申込方法】

・ご参加ご希望の方は、本メールの返信または下記のFAX宛にて、2月1日(火)までに、NBS事務局：橋本宛にご連絡をお願いいたします。

なお、領収書の必要な方は、領収書の宛名も併せてお知らせ願います。

【連絡先】

・[E-mail] 当メールの返信にて、ご連絡願います。

< hashimoto.13530.shizu.sakura@catv296.ne.jp >

・[Fax] 043-376-1415 NBS事務局 宛

NBS 2022年 新春講演会(2月8日[火]開催)に参加します。

お名前	ご所属先	(領収書宛先)	TEL

以上